

# コラボナビ

- Control Hub編 -

Ver8.0

2023年8月

シスコシステムズ合同会社

# 改版履歴

Ver.	更新日	更新内容
6.0	2022/8	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新のテンプレートに変更</li> <li>最新のUIに置き換え</li> <li>全体の構成を変更</li> <li>デバイスのクラウド登録に関する記載を削除（「コラボナビ- Webex Devices クラウド登録編 - 」を参照するよう補足）</li> <li>Webex Meetingsの管理に関する記載を削除</li> <li>Pro Pack機能まとめを削除</li> </ul>
7.0	2023/4	<ul style="list-style-type: none"> <li>eDiscovery機能について追記</li> </ul>
8.0	2023/8	<p><b>【参考】ユーザーの追加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画面ショットを最新化</li> <li>電話番号の追加方法を追記</li> </ul> <p>Control Hubの基本画面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センサー機能のイメージを追加</li> </ul>

# Contents

## 01 はじめに

Control Hub とは

## 02 Control Hubを使い始める

Control Hubへのアクセス、ログイン方法

## 03 Control Hubの基本画面

分析、デバイス、ユーザー、アカウント、サービス

## 04 Pro Packで使える機能

## 05 【参考】ユーザーの追加

新規ユーザーの追加・ライセンスの付与はく奪

## 06 【参考】ドメイン検証・要求

ドメイン検証・ドメイン要求による無償ユーザー管理

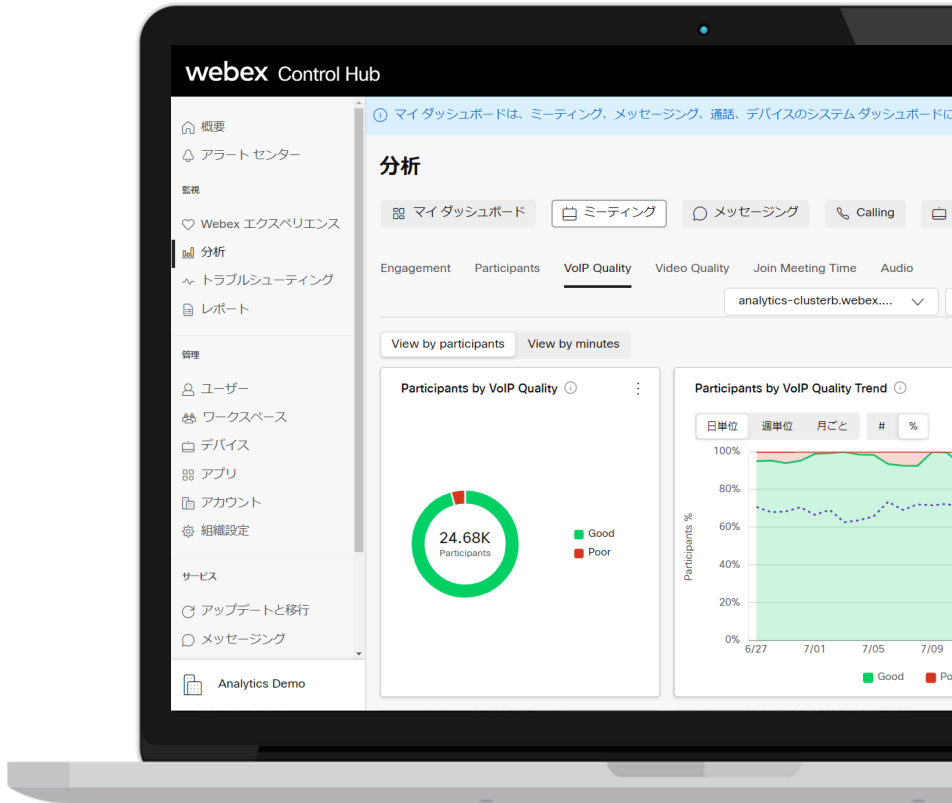
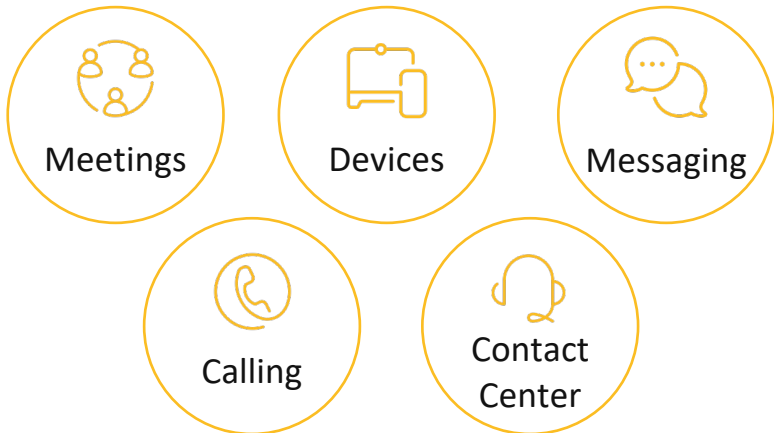
## 07 【参考】eDiscovery

## 08 問い合わせ先・参考URL

# はじめに

# Control Hub : Webexの管理ポータル

ブラウザベースの直感的な画面で、Webexの管理・分析・トラブルシューティングが可能です

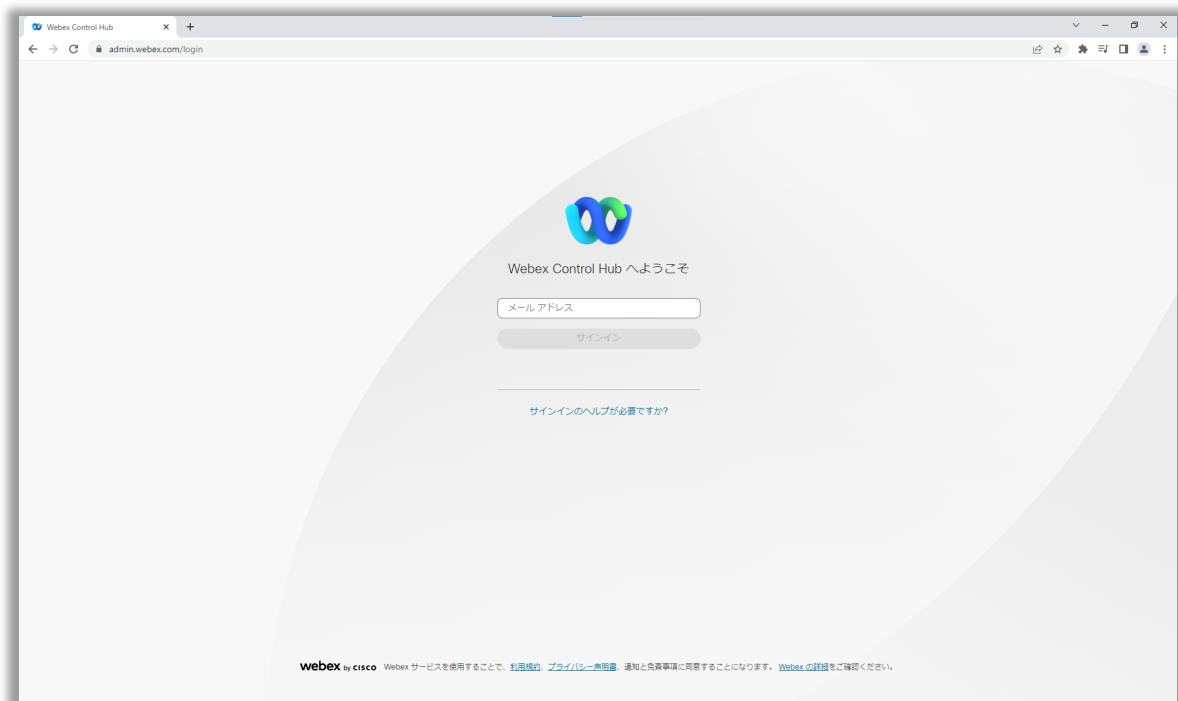


# Control Hubを使い始める

Control Hub を使い始める

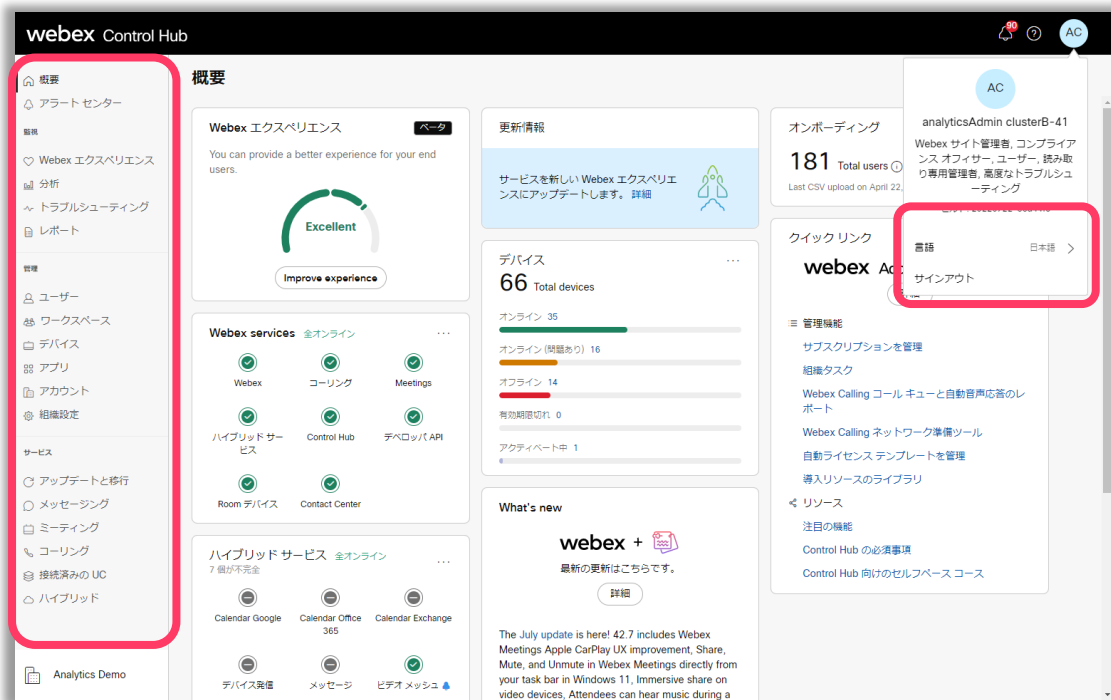
<https://help.webex.com/ja-ip/article/nkhozs6>

# Control Hubへのアクセス・ログイン



1. WebブラウザでURLを入力しControl Hubにアクセス  
URL:  
<https://admin.webex.com>
2. 管理者ユーザーのメールアドレス/パスワードを入力しログイン

# ログイン後の画面



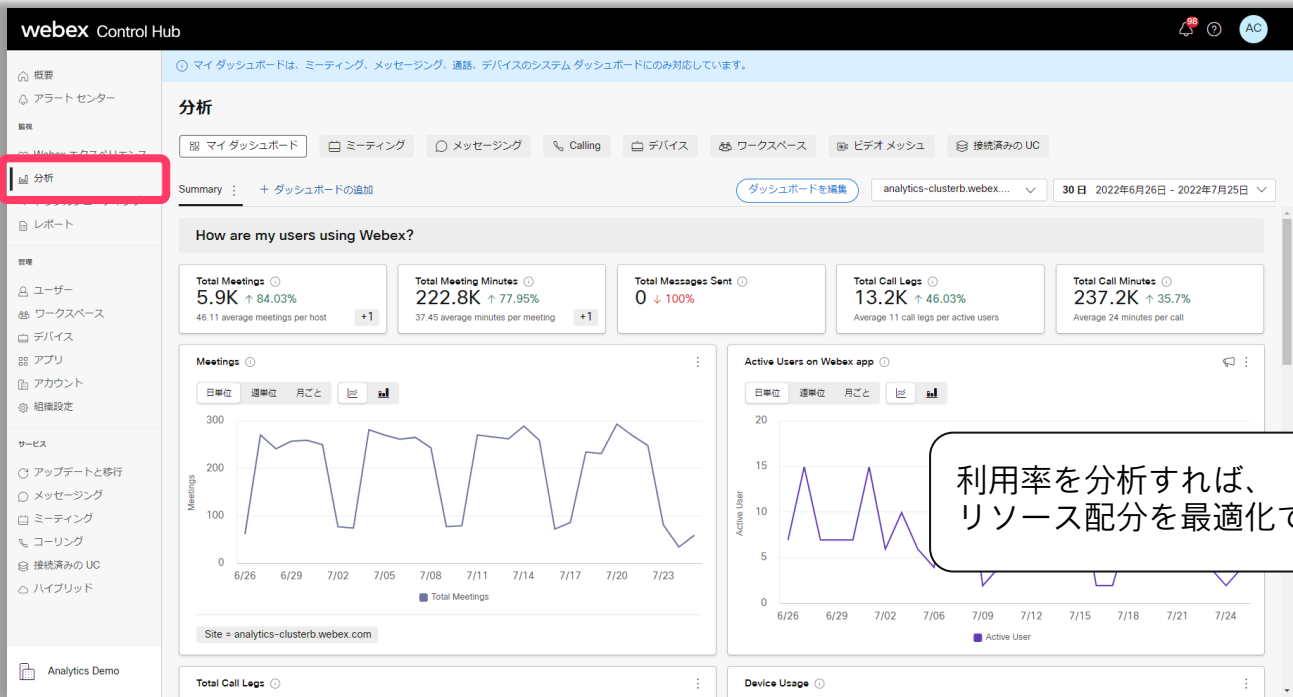
1. Control Hub にログインすると左のような画面が表示されます。
2. サイドメニュー（左赤枠）から実施したいメニューを選択できます。
3. 画面右上のアイコン（右赤枠）をクリックすると
  - ・表示言語の変更
  - ・サインアウト
 が実行可能です。



# Control Hubの基本画面

# 分析

期間を指定して、Webexサービスの利用状況に関する様々な分析データを参照できます。



# センサー情報

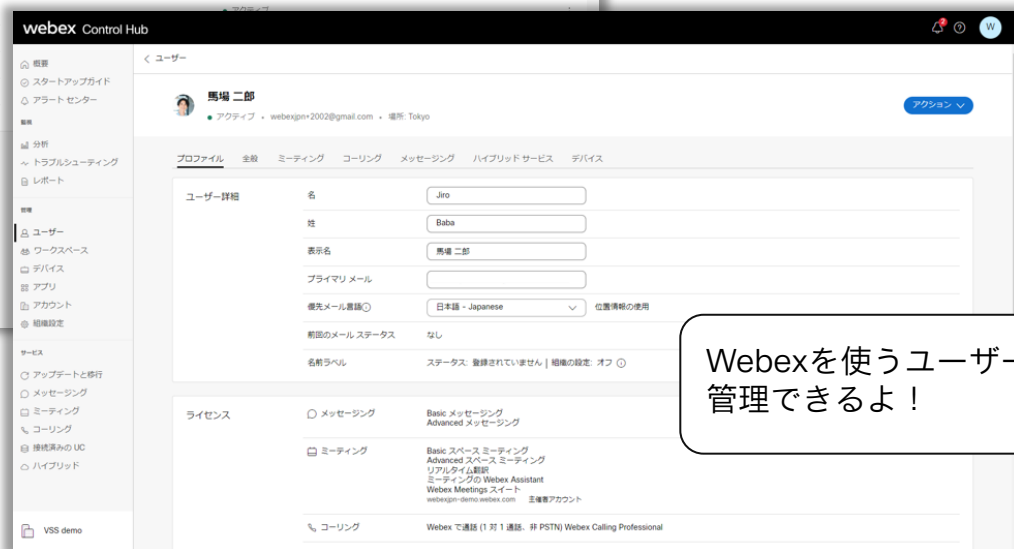
シスコ会議端末のセンサー情報をダッシュボードで表示



- 設計通りの利用人数か？
- どの位の頻度で利用されているのか？
- 仕事をするのに快適な環境か？
- 仕事をするのに安全な環境か？

# ユーザー

Webexを使うユーザーの追加/削除/ライセンスの割り当てなどができます。

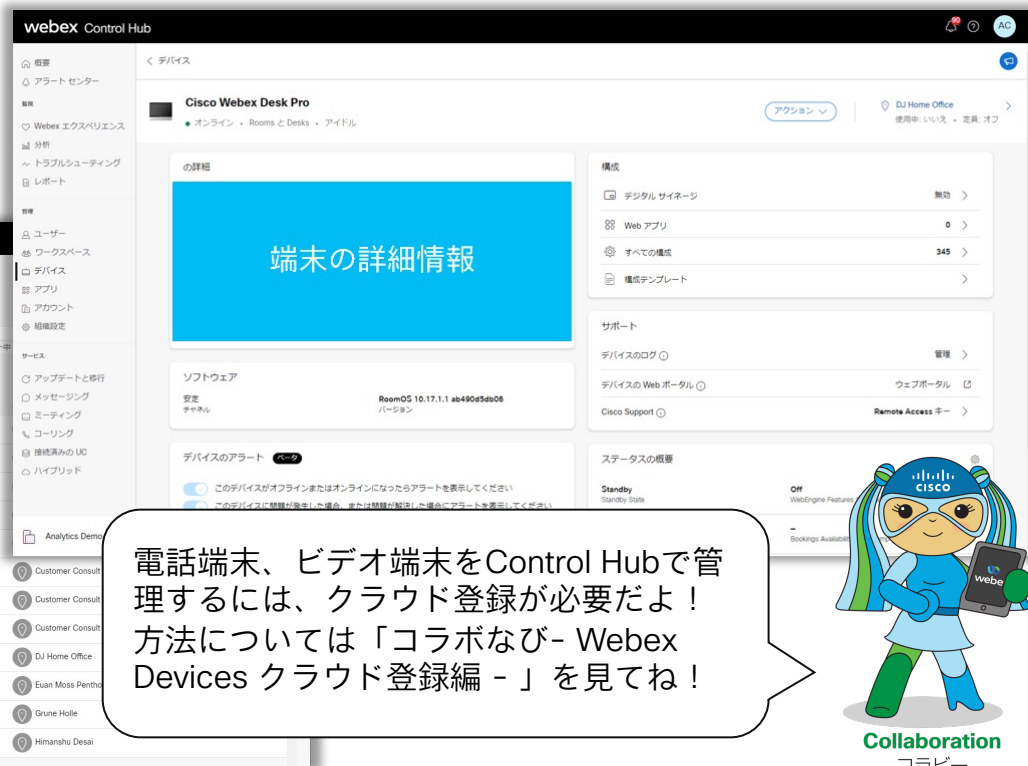
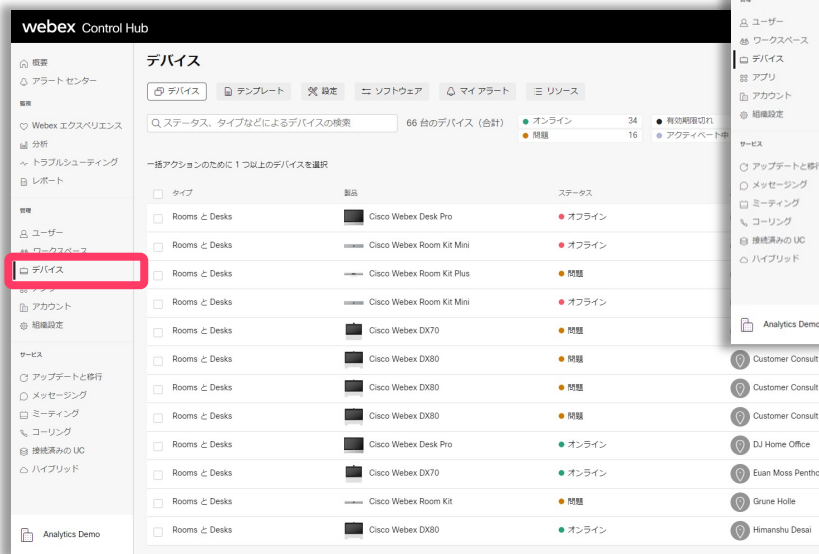


Webexを使うユーザーを管理できるよ！



# デバイス

クラウド登録済のシスコ電話端末、シスコビデオ端末の状況の確認や設定ができます。



電話端末、ビデオ端末をControl Hubで管理するには、クラウド登録が必要だよ！  
方法については「コラボナビ- Webex Devices クラウド登録編 - 」を見てね！



# アカウント

「アカウント」 > 「サブスクリプション」 から、購入したWebexのライセンスおよび使用状況が確認できます。

The screenshot shows the 'Accounts' page in the Webex Control Hub. The left sidebar has 'アカウント' highlighted. The main area shows the 'サブスクリプション' (Subscriptions) tab, which lists various services and their license usage. A table below summarizes the usage for all subscriptions.

すべてのサブスクリプションにわたるライセンスの使用状況	
メッセージング	Advanced メッセージング ライセンス使用状況: 131/10000
ミーティング	Advanced スペース ミーティング ライセンス使用状況: 130/10000
	Webex Meetings サイト ライセンス使用状況: 130/10000
	ミーティングの Webex Assistant ライセンス使用状況: 30/10000
コーリング	Webex Calling Professional ライセンス使用状況: 35/10000 ベーシックライセンス使用状況: 0/10000 Workspaces ライセンス使用状況: 4/10000 Cisco Calling プラン ライセンス使用状況: 39/1000 Cisco PSTN 電話番号 使用状況: 62
Webex デバイス	Webex Room システム ライセンス使用状況: 26/20000
管理とセキュリティ	クラウド接続 UC 購入済みの Standard ライセンス: 10

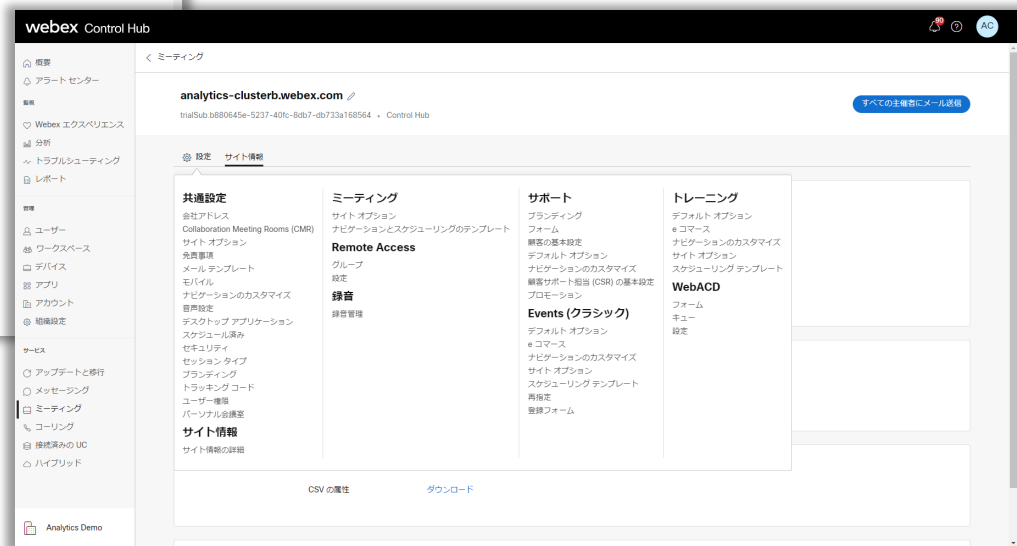
サブスクリプション毎に「SubID」が割り当てられているから、シスコへの問い合わせの際はぜひ伝えてね！

ライセンスの割り当ては「ユーザー」から実施できるよ！



# サービス

Webex Messaging、Webex Meeting、Webex Calling、Webex Contact Centerの各種設定ができます。



# Pro Packで使える機能

Pro Pack For Control Hub  
<https://help.webex.com/ja-ip/article/np3c1rm>



# Pro Pack

Webexをより安全にご利用いただくためのアドオン（追加）機能です。



**Collaboration**

コラビー

Control Hubに「Pro Pack」を付けると、  
Webexをよりセキュアに利用できるよ！

- Pro Packは、特定のプランで使用可能なアドオンです。追加については、CiscoまたはCisco パートナーにお問い合わせください。
- Pro Packはオンライン販売 (webex.com)の場合ご利用いただけません。

# Pro Pack -ファイル共有コントロール



スペースでの  
ファイルのダウンロード・  
アップロードを禁止する事  
ができるよ！

## Why File Sharing Control ?

Webex アプリに対してファイルをダウンロード、プレビュー、アップロードすることを制限できます。Webex Messagingでファイル操作をさせないポリシーを運用可能。

ユーザーがファイルを共有できないようにする  
<https://help.webex.com/ja-jp/article/pesuw>



# Pro Pack – Retention Policy (柔軟な保持ポリシー)



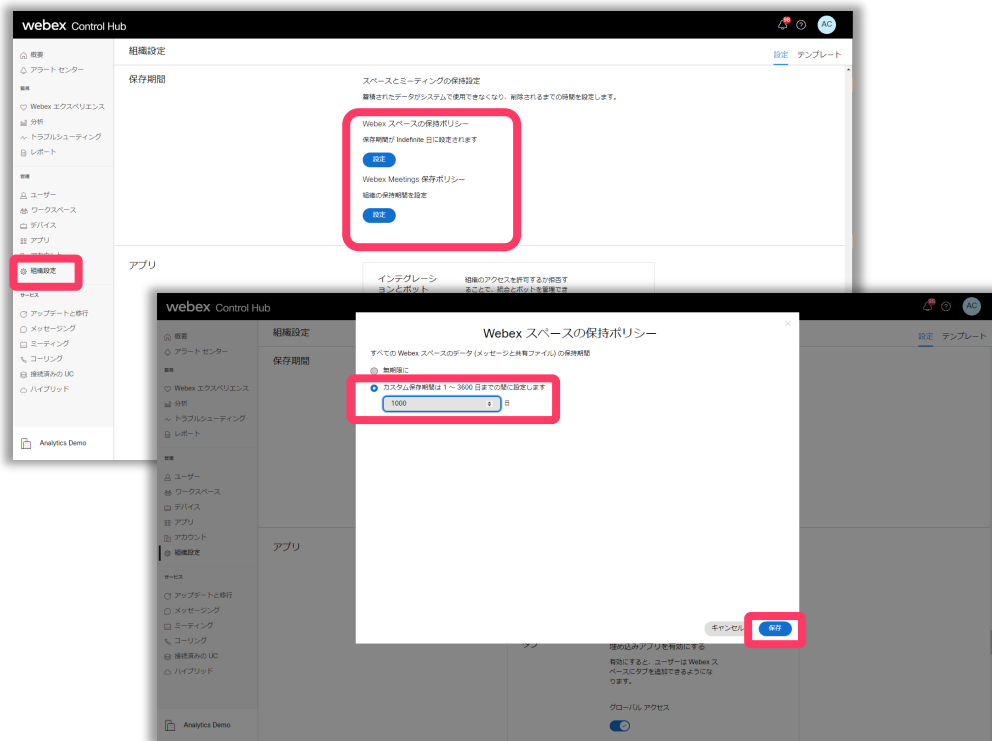
スペースに投稿された  
コンテンツの保存期間を  
設定できるよ！

## Why Retention Policy?

不必要にコンテンツが露見する事を防止。Emailやその他のコミュニケーションツールのポリシーと合わせる事が可能に。

保持ポリシー

<https://help.webex.com/ja-jp/article/nlbihns>



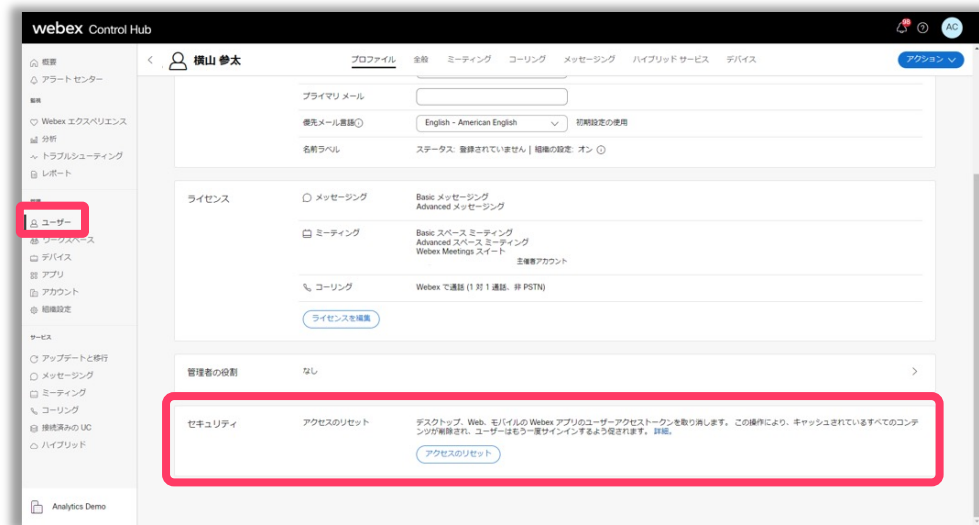
# Pro Pack - トークンリセット



特定のユーザーのトークンをリセットして、次回Webexを利用する時にサインインするよう強制できるよ！

## Why Admin Token Revocation and Remote Wipe?

管理者のコントロールによりサインインを強制する事で情報漏えいの防止。



Cisco Webex へのユーザーのアクセス権を取り消す  
<https://help.webex.com/ja-jp/article/nigu6hc>

# 【参考】ユーザーの追加

Control Hub 組織にユーザーを追加する方法  
<https://help.webex.com/ja-ip/article/nj34yk2>

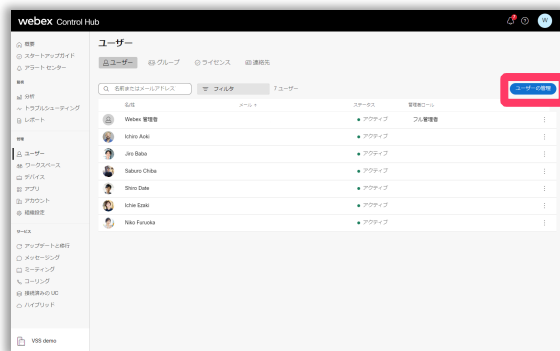
# ユーザーの手動追加(1/4)

管理者は、ユーザー追加・削除や個別に権限を付与することができます。

ここでは、手動によるユーザー追加方法からご紹介します。

①左側のタブの『ユーザー』を選択、  
『ユーザーの管理』をクリックします。

②ユーザー登録の方法が選択できます。  
ここでは手動での登録を選択します。



# ユーザーの手動追加(2/4)

メールアドレスのみで追加をするか、メールアドレスに加えて氏名も追加するか選択可能です。  
 どちらかを選択して、『次へ』をクリックし進んでください。

③-1メールアドレスと氏名を入力して登録。

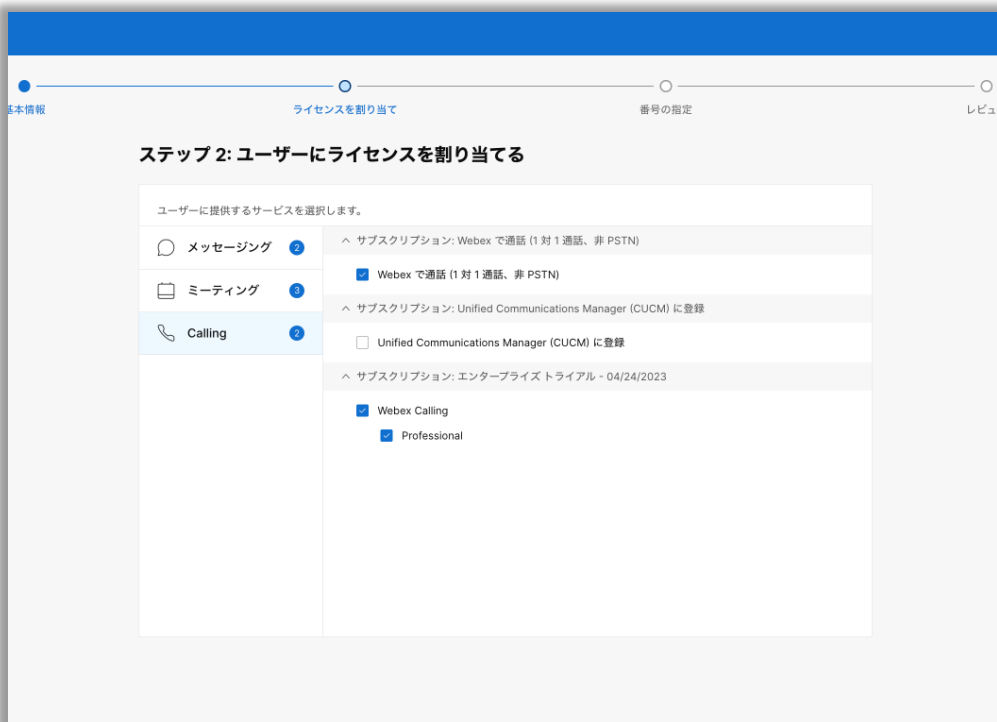
③-2メールアドレスを入力して登録。

最大25名まで同時に追加が可能だよ！  
 一度に複数のユーザーを追加する時はカンマ (,) で区切ってね！



# ユーザーの手動追加(3/4)

④追加するユーザーに付与したい機能にチェックを入れて「保存」をクリック。



## 【メッセージング】

他のユーザーとビジネスメッセージのやり取りができる機能です。

Webex MeetingsまたはWebex Callingの有償ライセンスを購入いただいている場合、有償機能の「Advancedメッセージング」を利用できます。

## 【ミーティング】

Webex MeetingsおよびWebex Meetingsのオプション機能であるリアルタイム翻訳のライセンス付与ができます。

## 【Calling】

Webex Callingのライセンス付与ができます。

※ご利用を希望されるサービスのライセンスをユーザーに付与しないと、該当のサービスをご利用いただけませんので、ご注意ください。



# ユーザーの手動追加(4/4)

Webex Callingのライセンスを付与した場合、次に電話番号を設定します。内容をレビューして完了です。

⑤ (Webex Callingを利用する場合) ロケーションを選択し、必要に応じて電話番号を設定します。

⑥内容を確認し、誤りがなければ右下の「ユーザーの追加」をクリックして完了です。



# CSVファイルによる一括追加(1/3)

CSVファイルをインポートし次へ進みます。



一括でユーザー追加する場合は「CSVによるユーザーの一括追加または変更」を選択して進んでね！

## <CSVファイル 見本>

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R			
First Nam	Last Nam	Display Name	User ID/Email (Requir	Hybrid Cal	Hybrid Cal	Hybrid Me	Call	Servic	Call	Servic	Care	Digit	Hybrid Cal	Hybrid Cal	Meeting 2	Spark	Me	controlhub	controlhub	webex.com - We
								FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE	TRUE				
								FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE				
								FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE	TRUE				
								FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	TRUE	TRUE				

Microsoft Excel で日本語を扱う場合の注意点  
<https://supportforums.cisco.com/t5/-/-/ta-p/3198270>

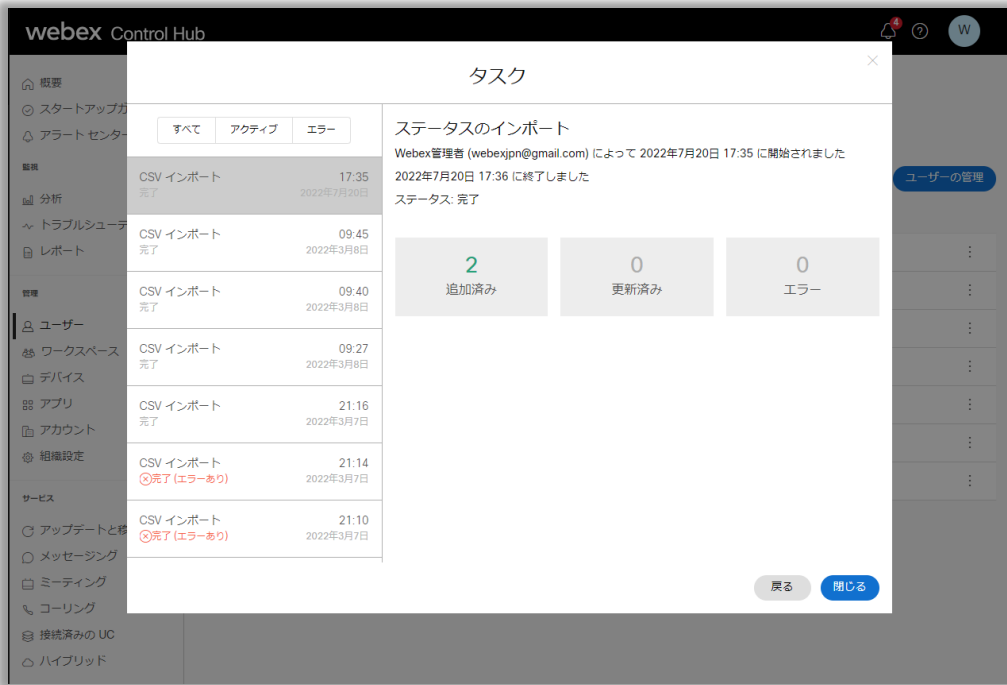


Collaboration  
 コラビー

# CSVファイルによる一括追加(2/3)

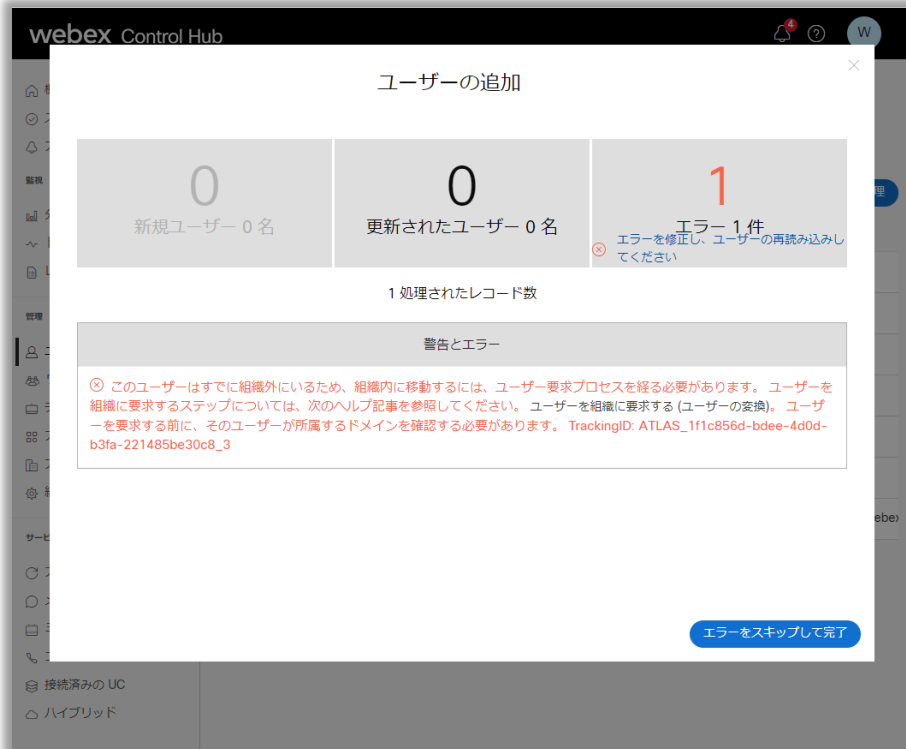
インポートを行うと下記のように、追加・更新・エラーの数が表示されます。

エラーの内容は下部に表示されるので、問題なければ「閉じる」をクリック。



# よくあるエラー

すでにWebexを利用している人のメールアドレスを利用して登録を進めることはできません。



よくあるケース	対応方法
無料アカウントを既に持っている	無料アカウントを削除してください。 メールアドレスの本人にて対応が必要です。  無料の Webex アカウントを削除する <a href="https://help.webex.com/ja-jp/article/5m4i4y">https://help.webex.com/ja-jp/article/5m4i4y</a>
有料アカウントを既に持っている ・オンラインでご購入済 ・グループ会社のCHにご登録済	ユーザーをControl Hubから削除してください。 有料アカウント側のWebex管理者にて対応が必要です。  Cisco Webex Control Hub で組織からユーザー アカウントを削除する <a href="https://help.webex.com/ja-jp/article/0qse04">https://help.webex.com/ja-jp/article/0qse04</a>
利用中のWebex環境が 特定できない	上記ケースや削除がご自身でできない場合のみシスコテクニカルサポートで対応いたします。 以下をご確認の上、テクニカルサポートまでお問い合わせください。 <a href="https://community.cisco.com/t5/-/-/ta-p/4403899">https://community.cisco.com/t5/-/-/ta-p/4403899</a>

ドメイン検証・要求の機能を使って、  
利用中のWebex環境からユーザーを移行  
することもできるよ！（後述）



# 【補足】 サービス利用開始（ユーザー）

管理者によって追加されたユーザーにはWelcome Emailが届きます。

<Welcome Email>



## 【補足】 サービス利用開始（ユーザー）

<https://www.webex.com/downloads.html>

上記URLからWebexアプリをインストールして利用開始してね！

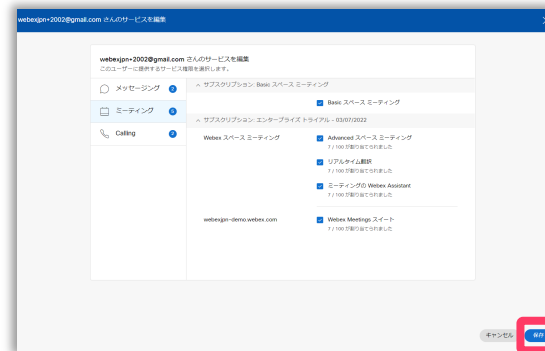
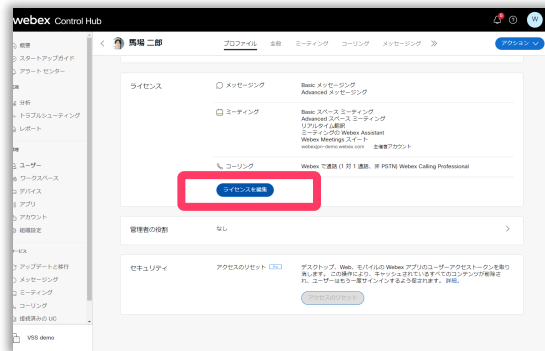
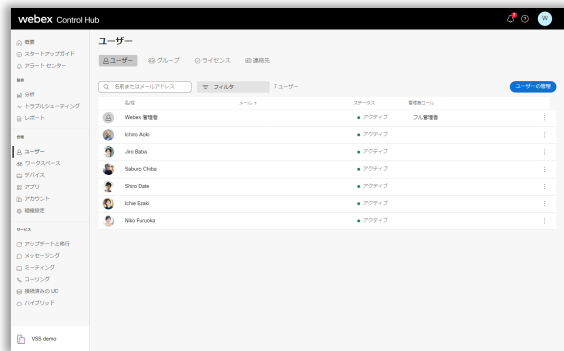


# ライセンスの付与・はく奪

①左側のタブの『ユーザー』を選択、  
ライセンスを編集したいユーザーをク  
リックします。

②下にスクロールし、「ライセンス」>  
「ライセンスを編集」>「ライセンス  
を編集」をクリックします。

③付与したいライセンスにチェックを入れ、  
「保存」をクリックします。（ライセンスを  
はく奪したい場合はチェックを外します）



# 【参考】ドメイン検証・要求

ドメインを管理

<https://help.webex.com/ja-ip/article/cd6d84>



# 💡 ドメイン検証・ドメイン要求

Webexのユーザー管理をより便利にする機能です。

メールアドレスのドメイン(@以降)が組織で管理されているかをDNSレコードを利用して確認する仕組みです。



**Collaboration**  
コラビー

ユーザー管理をスムーズにするために  
ドメイン検証・ドメイン要求を活用しよう！

グループの異なる会社間で同じメールアドレスを使用している場合は要注意。  
意図せずにグループ内の他社でユーザが登録できなくなったり最悪ユーザを誤って移行してしまいます。

# 💡ドメイン検証のしくみ

①example.comのドメインを検証、Control Hubで認証Tokenを発行



②認証Tokenを自社DNSに登録



cisco-ci-domain-verification=文字列

③Control Hubで認証Tokenの確認を実施

④ドメインクレームを実施(example.com)



⑤ドメインクレームが有効になる

既存ユーザ: example.comのメールアドレスで登録されているユーザは、ドメインクレームが行われたControl Hubに統合させることが可能

新規ユーザ: example.comのドメインのユーザは他のControl Hubに登録できなくなる

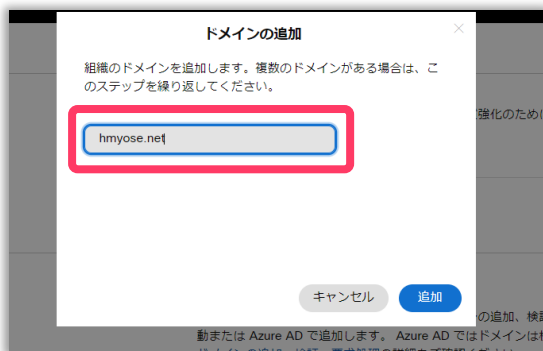
# ドメイン検証(1/3)

ドメイン検証を行うことで、無償ユーザーを有償ユーザーへ移行させることができます。

①「組織設定」>「ドメイン」>「主導で追加」をクリックします。

②ご利用中のメールアドレスのドメインを入力し、「追加」をクリックします。

③「・・・」>「検証トークンの取得」をクリックします。



# ドメイン検証(2/3)

ドメイン検証を行うことで、無償ユーザーを有償ユーザーへ移行させることができます。

④ 検証トークンをコピーします。

⑤ お客様ネームサーバーにTXTレコードでトークンを追記します。



一般的なBIND(named)の場合の例

ZONE管理ファイルに以下を追記

**ドメイン, 3600 IN TXT 取得したトークン文字列(cisco-ciから始まる)**

example.com. 3600 IN TXT "cisco-ci~"

※レコード追加後、拡散されるまで24時間以上かかる場合があります

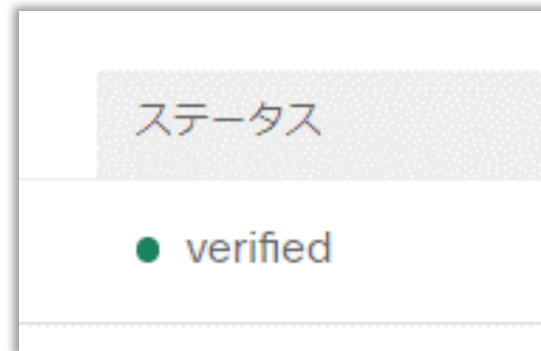
# ドメイン検証(3/3)

ドメイン検証を行うことで、無償ユーザーを有償ユーザーへ移行させることができます。

④ 「・・・」 > 「Verify domain」 をクリックします。

⑤ 「確認」 をクリックします。

⑥ ドメインのステータスが「Verified」 に変わっていることを確認します。



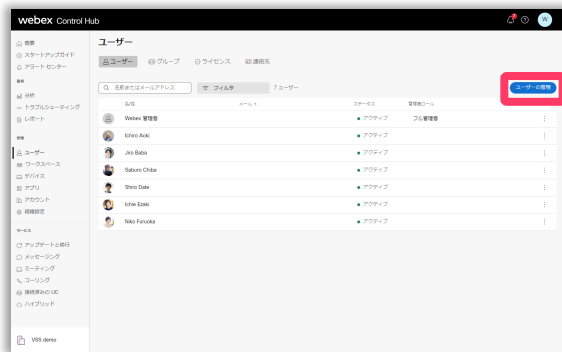
# 無償ユーザーを有償ユーザーへ移行(1/2)

ドメイン検証したメールアドレスで作成された無償ユーザーを組織のCHへ追加し、有償ユーザーへ移行させることができます。

①左側のタブの『ユーザー』を選択、『ユーザーの管理』をクリックします。

②ユーザー登録の方法が選択できます。ここでは「ユーザーを要求」を選択します。

③ユーザーにはウェルカムメールが配信される旨の画面が出ますので『次へ』。



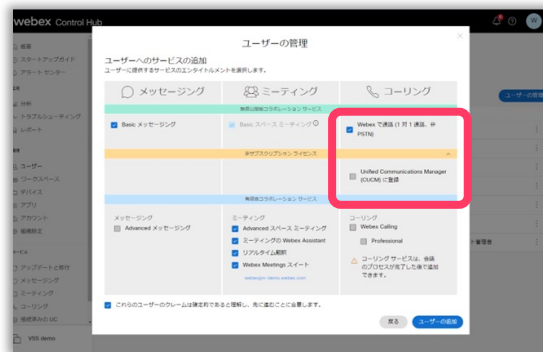
# 無償ユーザーを有償ユーザーへ移行(1/2)

ドメイン検証したメールアドレスで作成された無償ユーザーを組織のCHへ追加し、有償ユーザーへ移行させることができます。

④ 移行させたいユーザーをクリックします。

⑤ 付与したいライセンスおよび左下のチェックボックスにチェックを入れ、「ユーザーの追加」をクリック

⑥ 「完了」をクリック。



# ドメイン要求

管理者がドメイン要求を行うことで、組織のメールアドレスで他にアカウントを作成できないよう制御できます。

ドメイン要求をすると、他のControl Hubに紐づくアカウントからは自動でログアウトされ、ログインができなくなります。

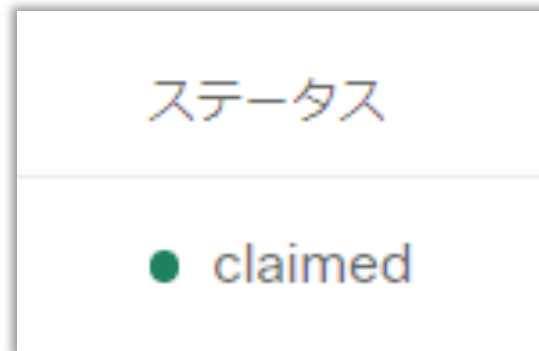
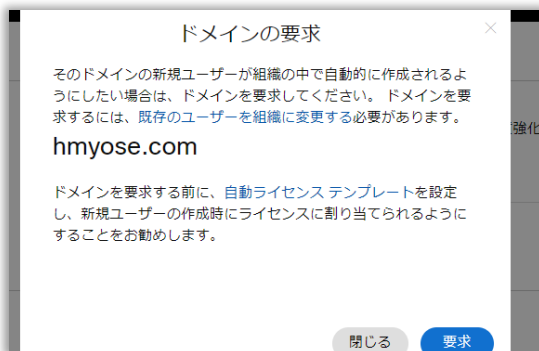
例えば、グループの異なる会社間で同じメールアドレスを使用している場合は要注意。

意図せずにグループ内の他社でユーザーが登録できなくなったり最悪ユーザーを誤って移行してしまいます。

① 「・・・」 > 「検証済みドメインの要求」をクリックします。

② 「要求」をクリックします。

③ ドメインのステータスが「Claimed」に変わっていることを確認します。





# ドメイン要求後の無償ライセンス登録について

例えば、無償のWebexアカウントを作成しようとした場合、以下の表示となり登録できません。



# 【参考】 eDiscovery

# eDiscovery



何か問題が発生した時に、  
スペース内でやり取りされた  
メッセージやファイルを検索する  
事ができるよ！

## Why eDiscovery?

社内のコンプライアンスに抵触するよ  
うな問題が発生した時に、過去に遡っ  
てスペース内のやり取りを検索。コン  
プライアンス違反の抑止と問題発生時  
の調査に。



(参考)

eDiscovery 有効化の方法

<https://supportforums.cisco.com/t5/-/-/ta-p/3192737>

# eDiscovery

eDiscoveryを使用するユーザーを選び、「管理者の役割」 > 「コンプライアンスオフィサー」を選択し、「保存」をクリック。

The screenshot shows the 'webex Control Hub' interface for user management. The user profile for '青木 一郎' is displayed. Under the 'Roles' section, 'コンプライアンス オフィサー' (Compliance Officer) is selected with a red box. At the bottom right, the '保存' (Save) button is also highlighted with a red box.

eDiscoveryの機能を使えるのは「コンプライアンスオフィサー」として登録されたユーザーだけだよ！

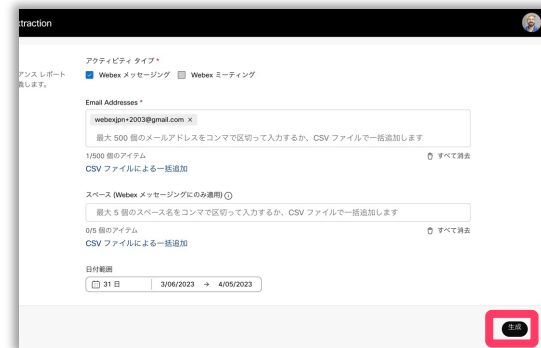
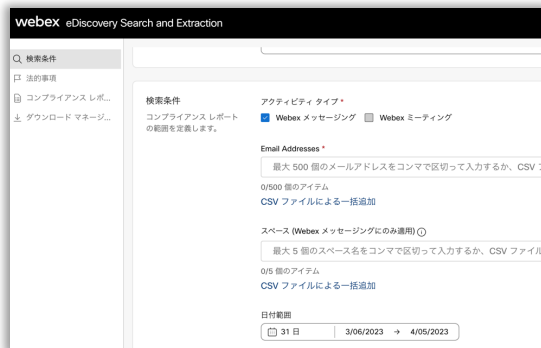
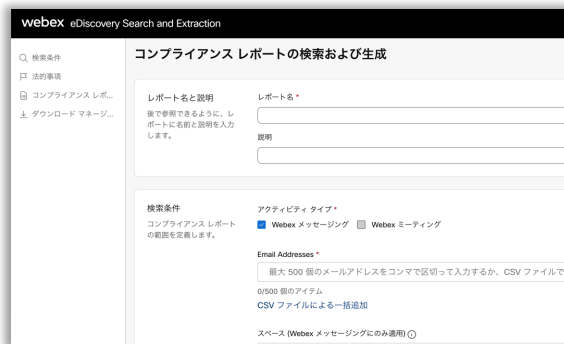


# eDiscovery 使い方

①「コンプライアンスオフィサー」の権限を持ったユーザーで <https://admin.webex.com> へログインします。

②レポート名、検索条件を設定します。メールアドレスからユーザーを指定できます。

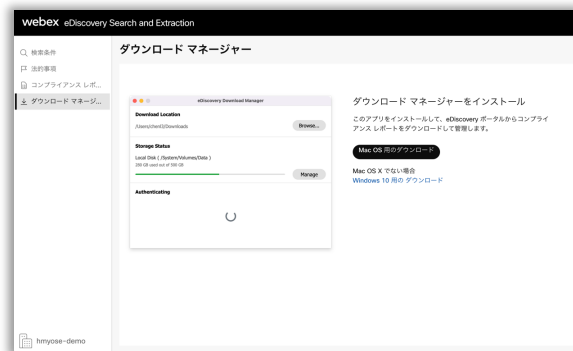
③画面右下の『生成』をクリックします。



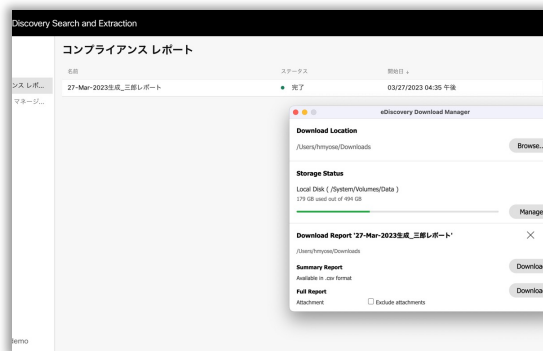
※「コンプライアンスオフィサー」以外にも管理者権限を持つユーザーの場合は、通常のControl Hubの中にポータルへのリンクが加わります。

# eDiscovery 使い方

④ (初回のみ) 「ダウンロード マネージャー」からレポートをダウンロードするツールをインストールします。



⑤ 「コンプライアンス レポート」からレポートをダウンロードできます。



※レポートの生成には時間がかかることがあります。  
レポートのサイズによっては、数時間かかります。

# eDiscovery レポートイメージ

# 問い合わせ先・参考URL

コラボナビは、日本のお客様やパートナー様へ日本語でわかりやすく情報提供することを目的とし、有志で作成しているドキュメントです。

コラボナビと、情報源であるデータシートやオーダーリングガイド、Webexヘルプセンターとの間に情報の乖離がある場合には、後者を正といたします。(英語版と和訳版に際がある場合は、英語版が正となります。)



# 問い合わせ先

Control Hubに関する情報は以下ドキュメントもご活用ください。

問い合わせ/参照先	URL
ヘルプセンター	<p><a href="https://help.webex.com/ja-ip/">https://help.webex.com/ja-ip/</a>                      (日本語で検索することも可能ですが、日本語でヒットしない場合、                      ①ページ右上の言語設定で英語に変更②英語で検索したい内容の1部 (例:recording) と検索②言語を日本語に変更するとヒットする場合があります。)</p>
テクニカルサポート	<p>Support Case Manager  <a href="https://mycase.cloudapps.cisco.com/case">https://mycase.cloudapps.cisco.com/case</a></p> <p>0120-339-836                      または 03-6434-6780</p> <p>サービス開始後の運用、サービス利用時のテクニカルなご質問に関する問い合わせ窓口</p>
カスタマーサクセス	<p><a href="mailto:webexjpcsm@cisco.com">webexjpcsm@cisco.com</a></p> <p>サービス開始後の運用、使い方、定着化に関する問合せ</p>

# 問い合わせ先

Control Hubに関する情報は以下ドキュメントもご活用ください。

問い合わせ/参照先	URL
コミュニティ	<p><a href="https://community.cisco.com/t5/-/bd-p/discussions-webex-spark">https://community.cisco.com/t5/-/bd-p/discussions-webex-spark</a></p> <p>シスココミュニティのディスカッションは、ユーザー様や 販社様、シスコ社員なども参加する 自由な情報交流の場です。シスココミュニティ事務局では、定期的な シスココミュニティのディスカッションの新規投稿や回答をして頂いた方が対象のキャンペーンも実施しています。</p>
よくある質問 (FAQ)	<p><a href="https://community.cisco.com/t5/-/-/ta-p/3890754">https://community.cisco.com/t5/-/-/ta-p/3890754</a></p> <p>日本の Webex テクニカルサポートによくお問い合わせいただくご質問とその回答を記載しています。</p>



## 参考URL

Control Hubに関する情報は以下ドキュメントもご活用ください。

問い合わせ/参照先	URL
Control Hub を使い始める	<a href="https://help.webex.com/ja-jp/article/nkhozs6">https://help.webex.com/ja-jp/article/nkhozs6</a>
Control Hub の新機能	<a href="https://help.webex.com/ja-jp/article/u9dlxd">https://help.webex.com/ja-jp/article/u9dlxd</a>



**webex**  
by **CISCO**